

Jazz Guitar Lesson

For Jazz Beginner 【4】



Mistletoe Music School

<YouTube 動画URL>

<https://youtu.be/5rt1-U64J8U>

ロックギタリストのための

ジャズギター入門シリーズ！【4】

ジャズに初めて挑戦する方を応援する「ジャズギター入門シリーズ」第4回目は「チャールストンビート」「3度音を含むフレーズのバリエーション」「コード毎に弾き分ける（6度音の使用）」「2弦～3弦の間隔を覚える」がテーマになります。動画は基礎練習から始まっていますが、テキストはいつも通り伴奏課題からです。

達成目標：1週間以内

【伴奏課題】

— チャールストンビート —

1920年代、ジャズがまだダンス音楽だった頃に流行していたリズムで、4拍子の1拍目と2拍目の裏に音を置いていきます。（リズム隊は4拍目の頭も）下記のリズム譜で確認してみましょう。

C7 F7

- 実例 -

Ex.1) それでは12小節のブルース進行で演奏してみましょう。

Ex.2) チャールストンビートの1拍目に向かうアプローチも導入してみましょう

- アプローチを自由に -

アプローチには、1、クロマチック、2、ダブルクロマチック、3、挟み込み（ディレイド・リゾルフ）がありました。それらも導入してみましょう。もちろん、実際の演奏では、これらのアプローチを自由に選択します。

全音上からダブルクロマチックアプローチ

D7 D \flat 7 C7 G7 G \flat 7 F7 D7 D \flat 7 C7 D7 D \flat 7 C7 E \flat 7 E7

全音下からダブルクロマチックアプローチ

F7 E \flat 7 E7 F7 B \flat 7 B7 C7 B \flat 7 B7 C7 E \flat m7 C#m7

半音上下からの挟み込みアプローチ

Dm7 A \flat 7 F#7 G7 D \flat 7 B7 C7 A \flat 7 F#7 G7 C#7 B7

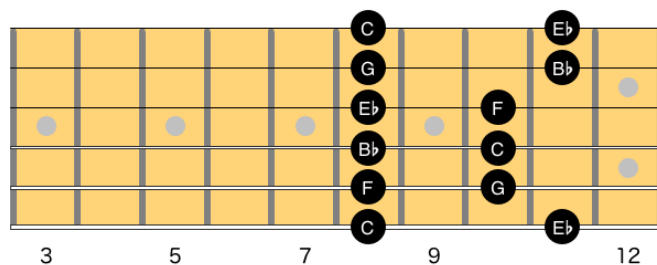


音符を伸ばすか、短く切るかも自由に選択できます。

【ソロ課題】

－ バリエーションの練習 －

前回、3度音（E音）をソロに導入しました。練習をするときは様々な可能性を試してみましょう。今回は3度音へ半音下からアプローチした後、C minor pentatonicの音へジャンプしてみましょう。



Ex.1) C7

Ex.2) C7

Ex.3) C7

Ex.4) C7

Ex.5) C7

Ex.6) C7

Ex.7) C7

Ex.8) C7

かっこよくないなと感じた場合でも、リズムを変化させることで良くなる場合があります。反復あるのみです！



- コード毎に弾き分ける -

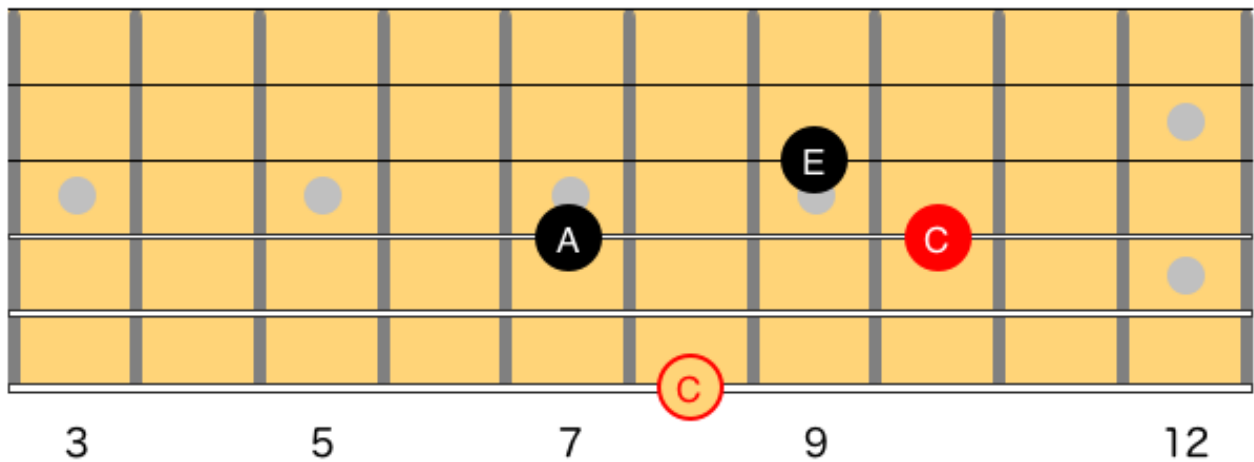
前回までは、どのようなコードが鳴っていても、KeyのPentatonic Scaleで演奏をしてきました。しかし、実際のジャズ演奏では1つ1つのコードに対して別々の音階を設定し、フレージングを縫っていきます。しかし、いきなり全てのコードを表現しようとして全く演奏が出来なくなった学習者をこれまで沢山みてきました。ジャズは言語です。

Pentatonic 1発での演奏は、誰かれ構わず”タメ口”で話す幼稚園児と考えます（幼稚園は言語学習の課程ですので、「悪いとか低レベル」と言いたいのではなく、喩え話です。）全てのコードを追いかけるのは、幼稚園児が大学教授の討論の中に入っていきようなもの、通用するはずがありませんよね。今回は小学生レベルに挑戦。（相手を見て敬語を話せるレベル）1発を卒業してブルース進行を2つのグループに分けてみます。

グループ1 C7、Dm7、G7

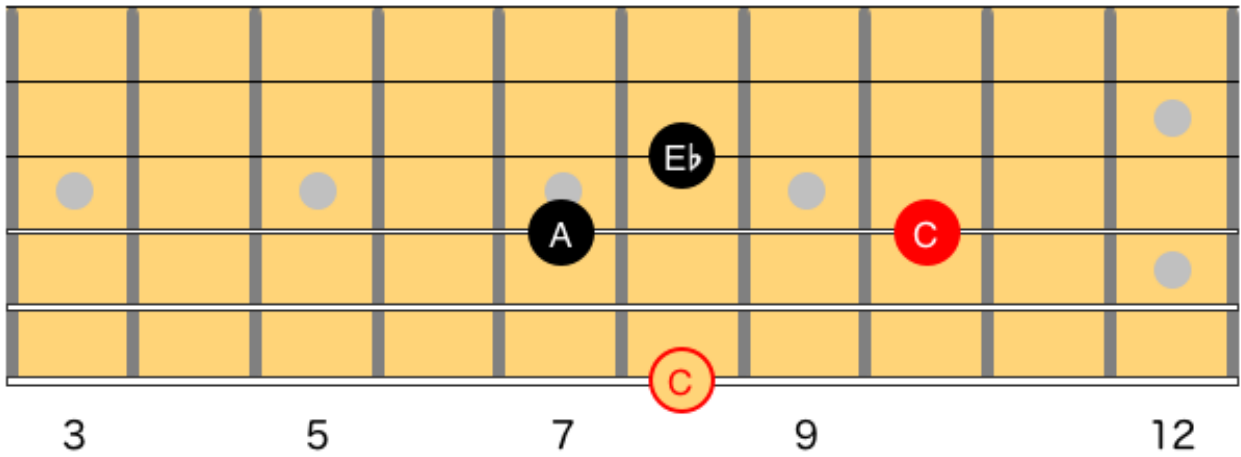
グループ2 F7

今回はKeyに対して6度音（A音）を導入します。6度音はジャズ・ブルースらしいサウンドとなります。Root音、3度音との相性抜群。（但し、b7度音《Bb音》との使用にはセンスが必要です）まずは6度音の場所を確認してみましょう。



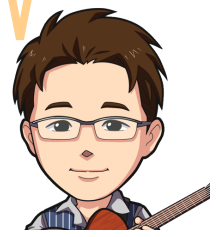
このフレーズをグループ1
(C7、Dm7、G7) で使用します





F7

E音を半音下げて、E \flat 音にしました。このフレーズをグループ2 (F7) で使用します。



C7 F7 C7 C7

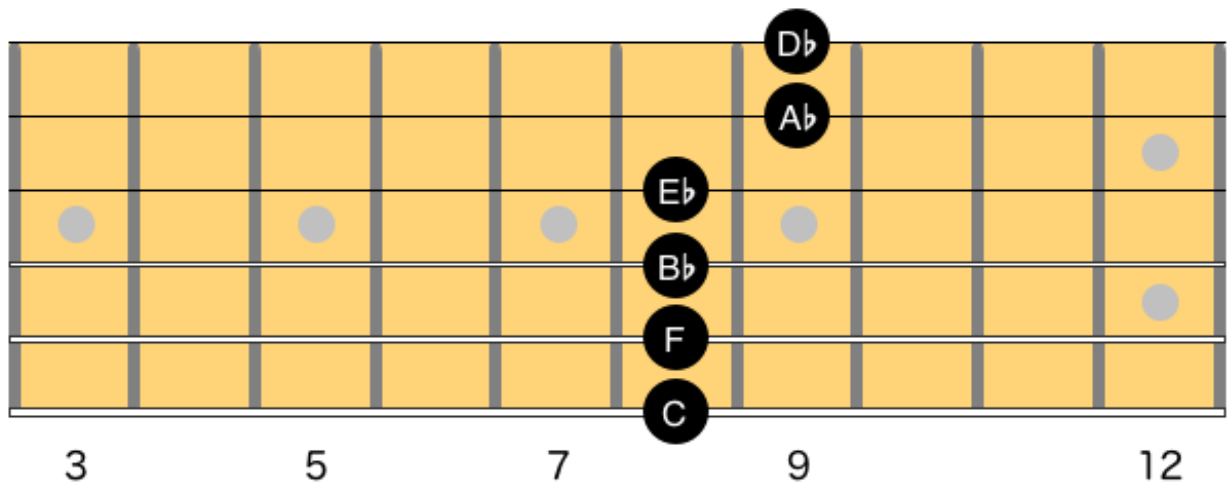
5 F7 6 F7 7 C7 8 C7

9 Dm7 10 G7 11 C7 12 G7 C7

【基礎課題】

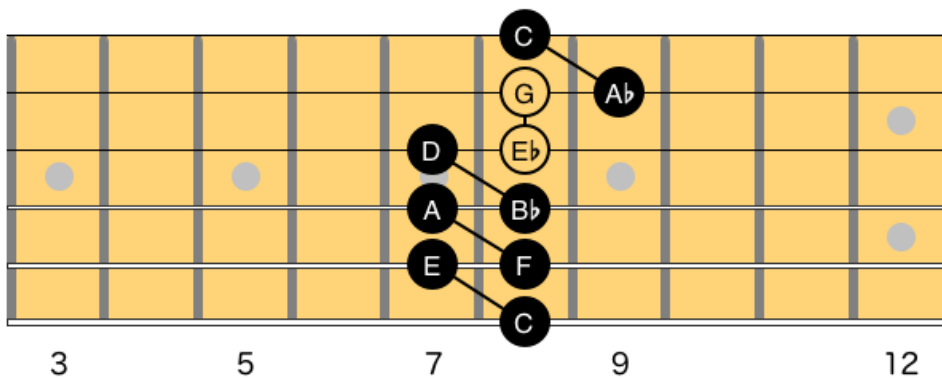
－ 2弦～3弦の間隔を覚える －

ギターの指板上では、6弦から5弦の同フレットへ進むとCircle of 5thを回ることになります。更に5弦から4弦の同フレット、4弦から3弦の同フレットへと進めた場合も同様です。しかし、3弦から2弦の同フレットへ進めた場合のみCircle of 5thを回ることが出来ません。ギターは2弦～3弦の間隔のみ、他の弦の間隔に比べて半音狭くチューニングされます。この特徴をしっかりと理解していきましょう。

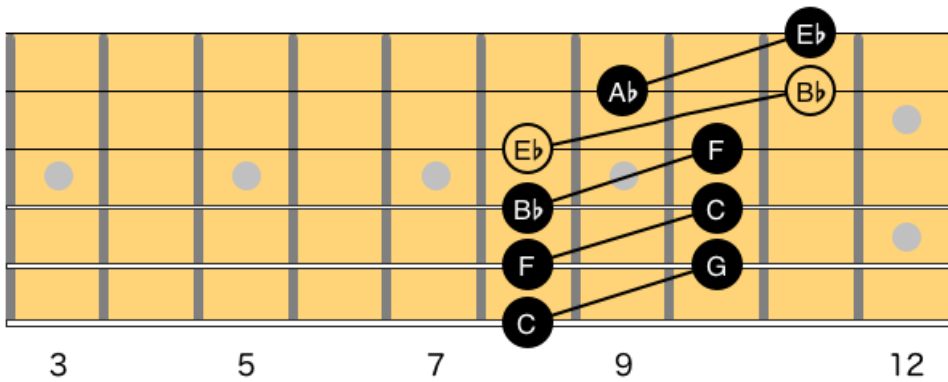


－ 長3度音程 －

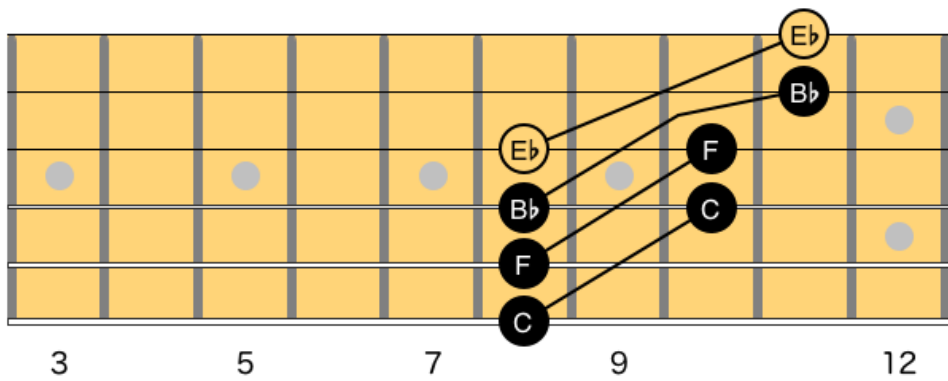
長3度音程を演奏してみましょう。2弦～3弦間のみシェイプが変わりますので、白丸にしておきました。指の運動で記憶しないように、演奏する時は、前回同様Circle of 5thの音名（Root音）を声に出すことを推奨します。



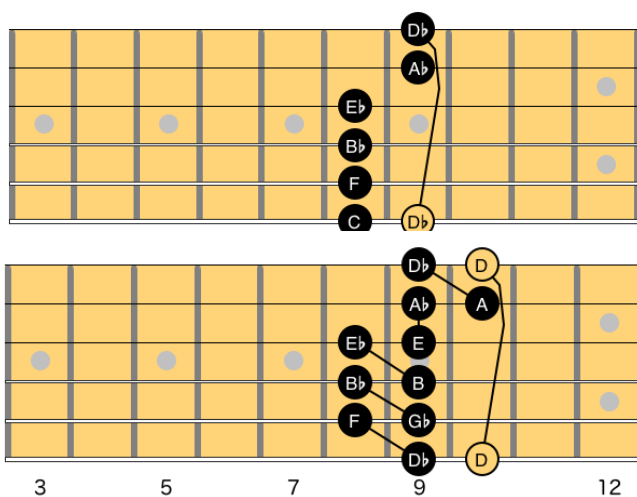
- 完全5度音程 -



- オクターブ -



- 1弦と6弦のチューニングは同じ -



ギターの仕組みを理解しましょう。1弦と6弦のチューニングは同じE音です。2弦のRootまで進めたら、そのまま同フレットの6弦にジャンプすることでCircle of 5thを回ることが出来ます。6弦8Fから、C-F-B \flat -E \flat -A \flat ここで1弦に進めずに6弦へ。

▼投げ銭応援箱 <https://www.paypal.me/mistletoepay/1000>

Paypalを使用した投げ銭箱です。応援、宜しくお願い致します。

